



富士の学び舎

園だより(10月号)

たもんのこ



令和8年9月25日

認定こども園

世田谷区立多聞幼稚園

園長 安部 裕子

「やってみたい」から始まる運動会

園長 安部 裕子

例年になく長雨となった9月でした。昨年は猛暑の影響からか秋が短く、あっという間に冬を迎えたことを思い出します。秋は気候も穏やかで、戸外での活動を存分に楽しめる季節です。季節の移り変わりを感じながら、伸び伸びと体を動かして遊ぶ時間を大切にしていきたいと思います。

さて、10月には運動会を予定しています。らっこ組の子どもたちにとっては、「運動会って、なあに？」というところからのスタートでした。いるか組が軽快にポンポンを振る姿を見たり、くじら組のテンポのよい音楽に合わせて思わず体を動かしたり、リレーの様子に声援を送ったり、「一緒に運動会をしましょうね!」と誘ってもらったりする中で、「みんなで楽しく体を動かして遊ぶ日があるらしい」と感じ始めています。

本園の運動会は、見栄えや結果だけを求めたり、無理な練習を繰り返したりするものではありません。保育者が子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら活動を工夫し、興味をもった運動遊びに友達や先生と一緒に取り組むことを大切にしています。活動に必要なものを学級で相談したり、一緒に作ったりしながら、自分たちが考えて形にしたものを遊びの中で活かしていくことも、大切な経験です。それらの中で、勝ち負けだけではない友達と協力する楽しさや、自分なりに頑張る喜び、挑戦する気持ちを育んでいます。

また、らっこ組は安心して参加すること、いるか組は友達との関わりを楽しむこと、くじら組は仲間と共通の目標に向かって力を発揮することなど、それぞれの発達に応じた成長の姿を見せてくれる機会でもあります。

そして何より、子どもたちの頑張りと成長を、保護者の皆様と園とで共に喜び合うことが、子どもたちの大きな自信につながります。当日は、一人一人の姿や成長の過程に目を向けていただき、笑顔で見守っていただくと共に、温かいご声援をお願いいたします。



今月、各学年で、大切にしたいこと

<年少>

- 園生活に必要なこと(身支度、片付け、給食の準備など)を自分で行うとする。
- 自分の思いを動きや表情、言葉で表しながら遊びを楽しむようにする。
- 教師や学級の友達と一緒に体を動かしたり、簡単なゲームやふれあい遊びをしたりすることを楽しくする。

<年中>

- 戸外で身体を動かして遊ぶ心地よさを味わえるようにする。
- みんなで一緒に活動する楽しさを感じられるようにする。

<年長>

- いろいろな運動遊びに意欲的に取り組み、自分の力を出したり、友達と競い合ったりする楽しさを味わえるようにする。
- 目的に向かって友達と協力したり分担したりしながら、遊びや活動を進めようとする。